

市民の願いに応える市政の実現を

日本共産党 道理ある論戦で市政を動かします



ふじき くにあき
(60歳)

ホームページは

TEL 74-1190 携帯 090-5704-0645

- 現在/市議会議員 4期目(教育民生常任委員)
- 自宅/庄原市水越町598

庄原民報

2011年2月

日本共産党庄原市委員会

庄原市西本町一丁目4-10

TEL・FAX 72-3366



私たちは、ひきつづき、保育の充実のため、全力をつくします。

しかし、庄原市は、庄原保育所を新築したら、民営化しようとしています。

子どもたちにとって、より良い保育が、本当に、民営化で、できるのか、庄原市の未来を担う、人づくりの基礎を育む保育に関することであり、真剣な検討と議論が必要です。

子どもたちの喜び姿が目に見えればよいのです。

日本共産党の藤木くにあき議員の提案が実を結び、子どもたちにも、環境にも優しい、完全冷暖房の、本格的な、木造建築の保育所になることが決まりました。(2012年度建設予定)

庄原保育所の新築は 木造平屋建に

* 補助金適正化法により、倒産した会社が変わって、庄原市が、国の補助金、約5億円を、国に返さなければなりません。

庄原市が誘致した、木質バイオマス関連企業、(株)ジュオンの事業計画のずさんさを、日本共産党の谷口たかあき議員(東城町)が、繰り返し、指摘してきました。

市長は、約5億円の、国の補助金を、庄原市が交付するにあたり、本当に、適正な審査をおこなっていたのか、その政治的責任は、まさに重大です。

私たちは、その事実経過と問題点を明らかにするため、全力をつくします。

(株)ジュオンの倒産で 市が約5億円も負担することに

困ったこと、やってほしいこと、ご意見を、気軽にご連絡ください。

切り取り線→

住所 町 氏名 歳 電話番号 無記名でもOKです

困ったときの頼いになる 相談相手

日本共産党

庄原市議会議員

ふじき
くにあき



4年間で180件の生活相談、8割を解決



寄せられた生活相談の膨大な資料

日本共産党のふじき市議会議員に、この4年間に180件以上の生活相談が寄せられました。親身になって話を聞き、8割が解決。「困ったときに頼りになる、どうしても必要な人」と期待が広がっています。

庄原民報のお知らせを見たり、口コミなどを通じて様々な相談が寄せられます。この間寄せられた相談の内容を一部お伝えします。これからもぜひお気軽にご相談下さい。

私道の除雪、高齢者世帯の悩み解決

65歳以上の高齢者世帯の私道の除雪は市で実施することになっていきます。農村部の高齢者世帯を訪ねて相談にのり、除雪ができたこと喜ばれています。

障害者手帳の交付、四年間で10件以上

重い障害を持っていながらなかなか手帳が交付されないという相談が相次いで寄せられ、この間10件以上解決しています。

つまずかないように側溝のフタを改修

西本町、みどり銀行前の側溝のフタに段差があり、お年寄りがつまずいてケガをしました。さっそく県に整備させました。(写真)



田舎の空家を有効利用、要望に応え斡旋

空家になっていく農家を「田舎で生活してみたい」という人の要望に応じて、きちんと売買ができるように条件を整えて斡旋。地域づくりという面でも歓迎されています。

訪問販売の被害からお年寄りを守る

20万円もする布団を訪問販売で買わされ、困っていたお年寄り4人の相談にのって契約を解除することができました。

サラ金地獄から立ち直させる

サラ金からの借金で苦しんでいた人たちを「つくしの会」などと協力しながら解決。あたりまえの生活を取り戻すまで相談にのっています。

高校授業料の免除で無事卒業

生活に困って高校授業料が払えないと相談に。免除申請を行い無事卒業する

ことができました。

木を伐採し、見通しがきくように

県道の大田橋付近は道幅が狭く車の行き違いができません。その上、立ち木が邪魔をして見通しも悪いため大変不便でした。立ち木を伐採してもらい、見通しをよくすることができました。

左の写真が伐採前、下の写真が伐採後、すっきりしました。



庄原民報

2011年2月
発行：日本共産党庄原市委員会
庄原市西本町1丁目4-10
TEL/FAX 72-3366

ふじき市議会議員の連絡先：090-5704-0645
ホームページ 藤木くにあきblog で検索してください。

日本共産党の活動を紹介しします。